

生成AIとの問答：

2024年1月13日
小野常富

ChatGPT:



You

CBDCとは何か？ 又、世界での現状は？

ChatGPT

CBDC(Central Bank Digital Currency、中央銀行デジタル通貨)は、中央銀行が発行するデジタル通貨のことを指します。これは、伝統的な紙幣や硬貨の代わりに、中央銀行が発行する電子的な形態の通貨です。CBDCは、ブロックチェーン技術や分散台帳技術などのデジタル技術を基に構築され、通常は法定通貨に固定された価値を持っています。

CBDCの導入を検討する中央銀行は、いくつかの潜在的な利点を考慮しています。これには、決済効率の向上、金融包摂の促進、不正行為の防止などが含まれます。また、CBDCは通貨発行の新たな手段として、中央銀行が金融政策を実施する上での新しい道具となる可能性もあります。

現在、世界各国でCBDCに関する研究や実証実験が進行中ですが、実際に導入されている国はまだ限られています。例えば、中国はデジタル人民元(Digital Currency Electronic Payment, DCEP)を導入しており、一部の試験的な使用が行われています。他の国々も検討している段階であり、CBDCの導入が進むと、国際的な金融システムにも影響を与える可能性があります。



You

CBDCは実際の貨幣に置き換わると考えられるか？

ChatGPT

ChatGPT

CBDCは、将来的には一部の国で実際の貨幣(紙幣や硬貨)に置き換わる可能性があります。これは国や地域によって異なります。CBDCが実際の貨幣に置き換わるかどうかは、複数の要因に依存します。

1. **政策目標:** 中央銀行や政府の政策目標がCBDCの導入を支持する場合、CBDCが実際の貨幣に取って代わる可能性が高まります。これには、キャッシュレス社会への移行や金融包摂の向上などが含まれます。
2. **技術的な進展:** CBDCがより安全で効率的な決済手段として普及し、一般の人々や企業がこれを受け入れやすくなると、CBDCが実際の貨幣に代わる可能性が高まります。
3. **法的な規制:** CBDCの法的な位置づけや規制が整備され、安定して導入されることが必要です。これには法的なフレームワークやセキュリティ対策、プライバシー保護などが含まれます。
4. **市場の受け入れ:** 一般の人々や企業がCBDCを受け入れ、広く使用することができれば、実際の貨幣に代わる可能性が高くなります。

ただし、一部の国や地域では、伝統的な貨幣が依然として重要な役割を果たしており、CBDCが完全にこれを置き換えることは難しいと考えられています。各国の経済や文化、政治状況などが異なるため、CBDCがどの程度の影響を持つかは地域ごとに異なります。

Bingによる回答:

中央銀行デジタル通貨（CBDC）は、中央銀行が発行するデジタル通貨です。CBDCの発行により、中央銀行は、現金の代わりにデジタル通貨を発行し、国民に提供することができます。CBDCは、中央銀行が発行するため、通貨の信頼性が高く、安定しています。世界の中央銀行の9割近くは何らかの形でCBDCの発行に向けて検討を進めているとのこと^{1 2 3}。

¹: 国際決済銀行（BIS）による中銀デジタル通貨のサーベイ調査 ²: How Central Bank Digital Currencies Work ³: CBDCの最新動向を解説、コンテストからみる「特性と課題」とは？

詳細情報 ¹ nri.com ² bing.com ³ sbbit.jp ⁴ nttdata.com



1 / 30 ●

回答の下に、参照可能なウェブサイトへのリンクがある。ただ、(1)の記事は2021年1月の記事。(3)は2022年8月。(4)は2022年1月。いずれも、資料として使えそう。又、追加の質問例が表示されている。

② CBDCのメリットは何ですか？ どうやってCBDCを使いますか？ 日本では、CBDCが発行される予定はありますか？

Chat GPTに使用されている言語モデルがGPT3.5であるのに対し、BingではGPT4と、最新版が使用されている。例えば「メリット」を聞いてみると

中央銀行デジタル通貨（CBDC）のメリットは以下のようになります^{1 2 3}：

- **安全性**: CBDCは、中央銀行が発行するため、通貨の信頼性が高く、安定しています。
- **効率性**: CBDCは、デジタル通貨であるため、現金よりも効率的に取引を行うことができます。
- **金融包摂性**: CBDCは、銀行口座を持っていない人々にとって、金融サービスへのアクセスを容易にすることができます。
- **犯罪抑止**: CBDCは、現金よりも追跡が容易であるため、犯罪者にとっては不利な状況となります。

世界の中央銀行の9割近くは何らかの形でCBDCの発行に向けて検討を進めているとのこと^{1 2 3}。
¹: 国際決済銀行（BIS）による中銀デジタル通貨のサーベイ調査 ²: How Central Bank Digital Currencies Work ³: CBDCの最新動向を解説、コンテストからみる「特性と課題」とは？

詳細情報 ¹ imf.org ² corporatefinanceinstitute.com ³ phemex.com

Copilotによる：

CBDCとは、中央銀行デジタル通貨の略で、中央銀行が発行するデジタル化された法定通貨のことです。CBDCは、現金や銀行預金とは異なる形態の電子マネーで、中央銀行の債務として機能します。CBDCには、金融機関間の大口決済に使われるホールセール型と、一般の個人や企業が利用する一般利用型の2種類があります。

世界では、多くの国の中央銀行がCBDCの検討や実証実験を進めています。特に、新興国では金融包摂の推進や決済の効率化などの目的でCBDCの発行に積極的な傾向があります。2020年10月には、バハマが一般利用型CBDCの「サンドドル」を世界で初めて発行しました。また、中国ではデジタル人民元のパイロット実験が進められており、近い将来の本格的な発行が予想されています。一方、先進国ではCBDCの発行に対して慎重な姿勢をとっている国が多く、日本銀行も2021年4月から実証実験を開始したばかりです。CBDCの発行には、金融システムや経済活動に様々な影響が想定されるため、その効果と副作用を十分に検討する必要があります。

CBDCに関する詳しい情報は、以下のサイトを参照してください。

- [CBDC\(中央銀行デジタル通貨\)とは何か？ 日銀はどのように取り組んでいるのか](#)

- [世界の中銀デジタル通貨\(CBDC\)の現状](#)
- [中央銀行デジタル通貨\(CBDC\)](#)
- [世界で本格化する中央銀行デジタル通貨\(CBDC\)の取り組み](#)

Bardによる：

CBDCとは、Central Bank Digital Currencyの略で、中央銀行が発行するデジタル通貨のことです。紙幣や硬貨と同じ価値を持つ法定通貨であり、スマートフォンやハードウェアウォレットなどのデバイスで利用することが想定されています。

CBDCのメリットとしては、以下のようなものが挙げられます。

- 現金の流通コストの削減
- 決済の利便性向上
- 金融包摂の拡大
- マネーロンダリングやテロ資金供与の防止

一方、デメリットとしては、以下のようなものが挙げられます。

- プライバシーの侵害
- サイバー攻撃のリスク
- 金融システムへの影響

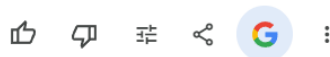
世界では、2023年時点で、約80の国・地域の中央銀行がCBDCの研究・開発に取り組んでいるとされています。そのうち、中国、バハマ、エストニア、スウェーデン、カナダなどでは、すでに実証実験やパイロットプログラムが実施されています。

中国では、デジタル人民元(e-CNY)の開発が進んでおり、2022年末までに7億人以上のユーザーを獲得したとされています。また、バハマでは、Sand DollarというCBDCが2020年10月に導入され、同国では法定通貨として使用されています。

日本では、日本銀行が2020年からCBDCの研究・開発を進めており、2023年春から民間銀行と協力して実証実験の第3段階を始めました。日本銀行は、2025年頃に実用化を目指しています。

CBDCの導入は、金融システムに大きな影響を与えることが予想されます。今後、各国の中央銀行がどのようにCBDCを導入していくのか、注目が集まっています。

又、回答の下「クローム」アイコンをクリックすると、関連のサイトの検索ができる。



関連トピックを検索

- Q CBDCとは何か？
- Q Cbdcには強制通用力がありますか？
- Q Cbdcは必要ですか？